

「報道を重ねることに利用者の家族や関係者たちが

や支援活動の妨げとなる憂うべき事態も生じた。生成AIはこうした問題に拍車をかけかねない。文

豊かな未来に向け、私たちは正確で信頼される情報を届ける責務を改めて自覚し、全うすることを誓う。

問題としているのは、公務員の勤務地に応じて支給される地域手当。基本給に

月て プ

アキシオムスパー
宇宙服=プラダ、

瑞浪地盤沈下最大4.4センチ

リニア現場近く 1カ月半で2センチ拡大

リニア中央新幹線のトンネル掘削工事による水源の水位低下が起きた岐阜県瑞浪市大湫町で、トンネル工事現場近くの一部地域で確認された地盤沈下が最大4.4センチに拡大していたことが、JR東海への取材で分かった。この地点は8月末の時点では2.4センチで、進む地盤沈下に住民からは不安の声が上がる。

水の水位低下の影響も否定できない」との考えを示している。

JR東海は、8月26日に集落のある大湫盆地の12カ所で0.6〜2.4センチの地盤沈下を計測し、この最大地点は9月17日に3.2センチ、同23日に3.7センチに拡大したと公表していた。JRによると、今月7日に計

測したところ、4.4センチになっていた。地盤沈下は、トンネル工事の切羽（先端）寄りの集落南西側を中心に発生。JRは地盤沈下とトンネル掘削工事の因果関係について「不明」としつつ、「地下

JRは集落の約60戸を対象に家屋調査を進めており、床の亀裂や柱の傾きが見つかった建物もある。JRは、地盤沈下に工事が影響した可能性が高まり、家屋などに緊急措置を講じる必要がある場合、補償を含めて対応するという。トンネル内では水位低下の原因とみられる湧水が続き、JRは対応策を見いだせていない。大湫町の額額富久区長会

長(68)は「湧水が止まらなければ地盤沈下も止まらないのではないかと。この状況が続くのかと不安に思う」と話す。

期間に4.4センチは異常と言える。大規模なトンネル工事では地盤が地下水位の低下で圧密され、沈下する可能性が高まる。瑞浪の地盤沈下は、トンネル工事が必要な原因と推測するのが妥当だ。今後、沈下した地域では建物が傾斜し、長期間にわたれば壁や床に亀裂が生じる恐れがある。

75歳縛られ殺害か

横浜 連続強盗との関連捜査

16日午前9時半ごろ、横浜市青葉区鉄町の住宅で「玄関ドア脇の窓が昨日から開いたままになってい」と近隣住人から110番があった。警察官が、この家に住む無職後藤寛治さん(75)が手足を縛られて倒れているのを発見。現場で

死亡が確認された。暴行を受けたような傷があり、出血していた。神奈川県警は殺人事件とみて捜査し、首都圏で相次ぐ強盗事件との関連を調べている。千葉県白井市でも16日、住宅で女性2人が手を縛られて現金を奪われる強盗傷